



大津市民から多数の苦情 大雨でも琵琶湖市民清掃を強行

2024年6月30日（日）に、どしゃぶりの雨天の中、大津市では琵琶湖市民清掃を実施したが、参加した市民から大津市や滋賀県へ多数の苦情が届いていたことがウォッチドッグの取材でわかった。道路や湖岸が濡れて滑りやすい状況の下、市民の安全が脅かされる事態でも清掃を強行したことになるが、「誰が雨天決行を決断したのか」に関する公文書は大津市に存在しなかった。（※下記は、一部の声）

今回雨天なのに実施しなくて良かったのでは？ 再々延期がないから無理矢理実施したように見受けられます。

降水量が予想される中で実施される判断材料は、何でしょう？

高齢者が多く、雨の中ですべりやすいので、とても危ない。

雨天時に実施を行う目的や意義は何か？

大津市は住民のこと何も考えとらん！

何で梅雨と熱中症にかかりやすいこの時期に琵琶湖一斉清掃する？

雨が降るのに傘さして清掃するのか！ カップ着てまでようやらん。

いつまでも、社会貢献と称して無償で、社会をリタイアした人の好意で、奉仕させる事を見直して欲しいと思います。

所詮役所仕事、琵琶湖一斉清掃を実施しましたという実績作り。

けがやまた体調を崩す恐れも想定される状況下での実施には疑問の声が多いです。

市長もやったのか？

滋賀県は「美国会」、大津市は「実践本部」で別団体

6月30日の「琵琶湖市民清掃」を雨天の中で決行した問題で、多数の苦情の声が大津市だけでなく滋賀県にも届いていた。大津市民の中には、大津市の「琵琶湖市民清掃」が、滋賀県も関与していると勘違いしている人がいる。滋賀県は、任意団体「美しい湖国をつくる会（会長は、元滋賀県琵琶湖環境部長）」が運営しており、大津市は、別団体の「琵琶湖を美しくする運動実践本部（本部長は、大津市自治連合会長）」が運営している。滋賀県が参加している「美しい湖国をつくる会」は、大津市が雨天決行した6月30日の翌7月1日に、「びわこを美しくする運動」を実施する予定だったが、「（大津地区は）荒天のため中止」と判断している。延期や決行の選択はしていない。